

# ミュールクライス鉄道

ミュールクライスパーンは、オーストリア連邦鉄道 (ÖBB) の標準軌の単線支線で、リンツ・ウルファール駅からドナウ川北のアップーオーストリアのミュールフィアテルを通過してボヘミアの森のふもとにあるアイゲン・シュレーグルまで走っています。全長 58km のルートは、ウルファールのリンツ地区のリンツ・ウルファール駅 (Vulgo Mühlkreisbahnhof) から始まり、最初はドナウ川の北岸に沿って、オッテンシャイムからその後、ロドル川の谷の北西方向にさらに内陸に入り、ロツテネグの直前まで続きます。これに続いて、ザウリュッセルグラーベンの接着勾配が 46% の 5 km の急勾配のセクションが続き、海拔 268 m の B 127 と平行にラッケン (海拔 440 m) に平行しています。ゲルリングまで上り坂を進み、ルートは右折してペゼンバッハの谷に入り、その後、ドラウテンドルフ近くのノイハウス・ニーダーヴァルトキルヒェン駅 (海拔 556 m) の前に登ります。



開業時の機関車 アイゲン



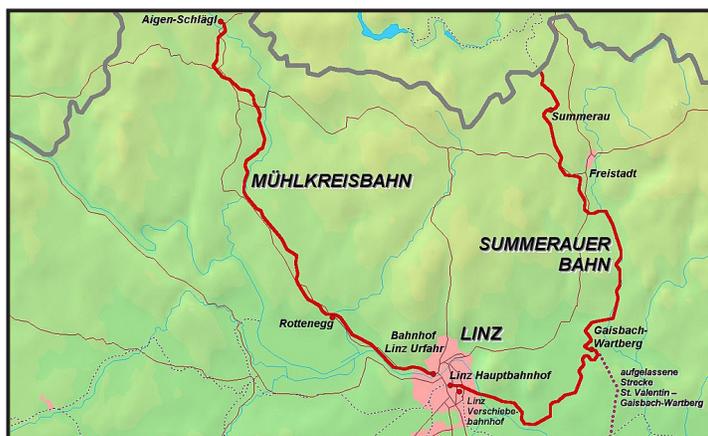
開業当時の運行風景



1988年 オーストリア発行  
ミュールクライス鉄道 100周年切手  
1888年 ----- 1988年



現在のリンツ駅 A5002 デシロ



ミュールクライスパーンのルート



オエッピング均衡を走行する 5022 気動車

# アッヘンゼー鉄道

チロル地方のアヘン湖のゼースピッツとイェンバッハ間 6.78 km を走る鉄道で海拔約 440 メートルの急勾配区間はリッゲンバウハラックシステム（歯車鉄道）を使用してる。ロツパ最古の歯車鉄道で、現在でも蒸気機関車が運行されている。

<https://www.achenseebahn.at/>  
[https://en.wikipedia.org/wiki/Achensee\\_Railway](https://en.wikipedia.org/wiki/Achensee_Railway)



アヘン湖畔のゼースピッツ・アム・アッヘンゼー駅



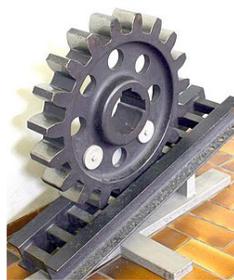
イェンバッハ駅で準備する 2 台の機関車



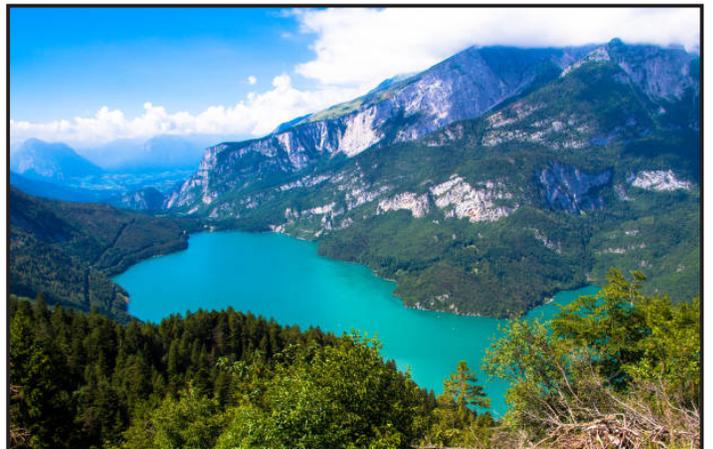
1889 年 オーストリア発行  
 ミュールクライス鉄道 100 周年切手  
 1898 年 ----- 1998 年



ビューアッヘンゼー鉄道歯車蒸気機関車 2 号機



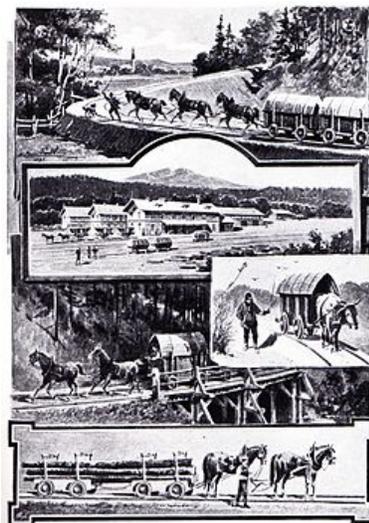
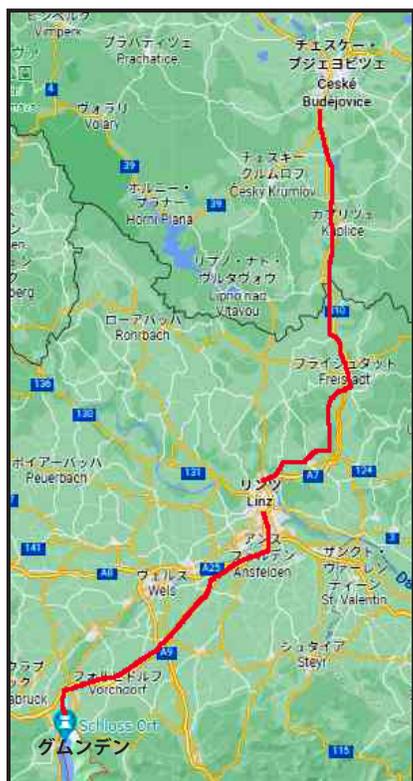
zahnradbahn ラック式鉄道 歯車軌道鉄道



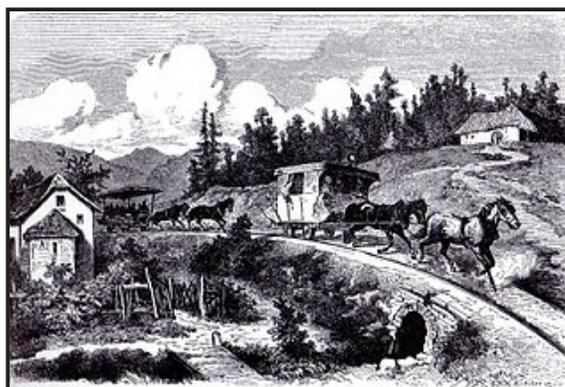
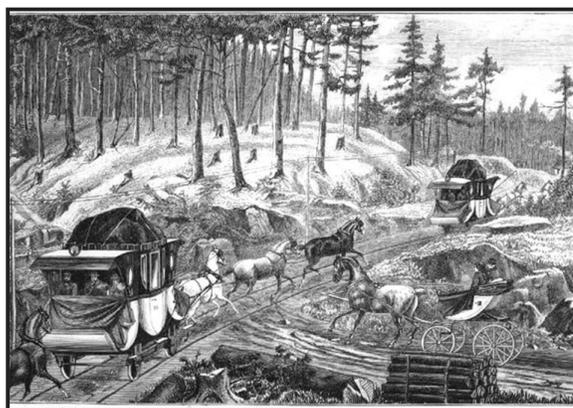
アヘン湖遠景

# 馬車鉄道 チェスキー・ブジェヨヴィツェ - リンツ - グムンデン

1827年から1836年の間に開通したチェスキー・ブジェヨヴィツェ - リンツ - グムンデン馬車鉄道はヨーロッパで2番目の公共鉄道路線である。主にアッパーオーストリアのザルツカンマーゲートからボヘミアへの塩の輸送に使用された。リンツとチェスキー・ブジェヨヴィツェの間の山岳地帯のルートは、曲率半径が狭すぎ、勾配が大きすぎるため、1855年と1856年にリンツとグムンデンの間で蒸気運転に転換された。馬が引く路面鉄路運行は1872年12月に終了した。



オーストリア初の鉄道?の写真



リンツ - チェスキー・ブジェヨヴィツェ間の運行



2011年 オーストリア発行  
馬車鉄道 175周年切手  
1836年 ----- 2011年



ソルトワゴン



乗用車1等「ハンニバル」



鉄路馬車と普通馬車の効率比較

# ウィーナー・ノイシュタットーオルデンブルク線 150 周年

ウィーン・ノイシュタット・ソプロン鉄道(マッタースブルク鉄道とも呼ばれる)は、オーストリアとハンガリーの国境を越えた32km鉄道路線です。ウィーン・ノイシュタットからニーダーオーストリアとブルゲンラントを通り、ソプロン(エーデンブルク)まで運行しています。オーストリアの区間はオーストリア連邦鉄道(ÖBB)の補助ネットワークに属し、ハンガリーの区間はラブ・エーデンブルク・エーベンフルト鉄道(RÖEE)に属している。この路線はオーストリアで最も古い鉄道路線の1つです。ウィーン・ノイシュタット - ソプロン鉄道は1998年から2001年の間に近代化され、今日では最大120 km/hの運行が可能になった。



ウィーン・ノイシュタットの大聖堂



ハンガリー語ドイツ語表示の町の看板



切手に描かれたマッターズバーク高架橋



1997年 オーストリア発行  
 ウィーン・ノイシュタット・ソプロン鉄道  
 150周年切手  
 1847年 ----- 1997年



ウィーン・ノイシュタットの眺め

# 皇后エリザベス鉄道

[https://de.wikipedia.org/wiki/Kaiserin\\_Elisabeth-Bahn](https://de.wikipedia.org/wiki/Kaiserin_Elisabeth-Bahn)

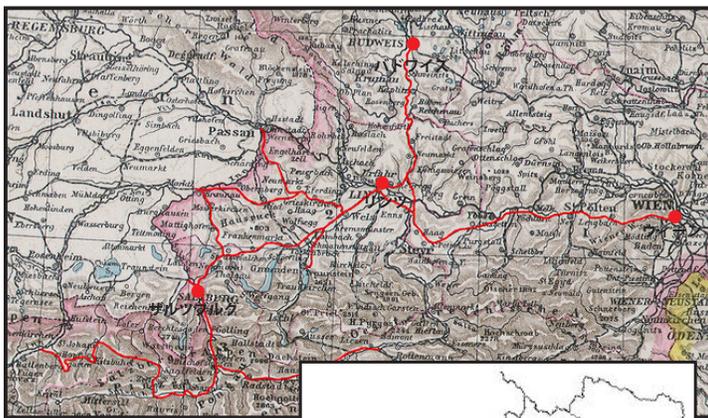
オーストリアで最も重要な鉄道路線です。しかし、君主制の時代、南部の鉄道（トリエステの港湾都市につながる）と北部の鉄道（ボヘミアとモラビアの炭田につながる）よりもはるかに遅れていた。西部鉄道はザルツブルクとバイエルン間であった。それはドナウ川の海運交通と平行していた。1851年オーストリアとバイエルンは、両国間に鉄道を建設するための条約に署名しました。ミュンヘンからザルツブルクを経由してウィーンまで、ローゼンハイムからクーフシュタインを経由してインスブルックまでのルートと、ニュルンベルクからレーゲンスブルクを経由してリンツまでのルートの継続が合意された。さらに、契約には、ボルツァーノからヴェローナまでのロンバルディア-ベネチア鉄道に接続するためのブレンナー鉄道の建設も含まれていました。すべての路線の完成は1858年に予定された。



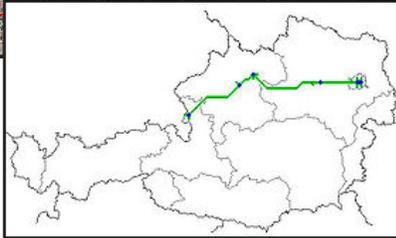
開業時の西ウィーン駅



現在の西ウィーン駅



路線図



沿線風景



2008年 オーストリア発行  
ウィナー・ノイシュタット-オルデンブルク線150周年切手  
1858年-----2008年



エンプレス・エリザベス鉄道の  
唯一現存する機関車

# グラーツ - ケーフラッハ鉄道

グラーツ - リーボツホの鉄道路線 91km を運行しています。



1997年 オーストリア発行  
 グラーツ - ケーフラッハ鉄道  
 150周年切手  
 1860年 -----2010年



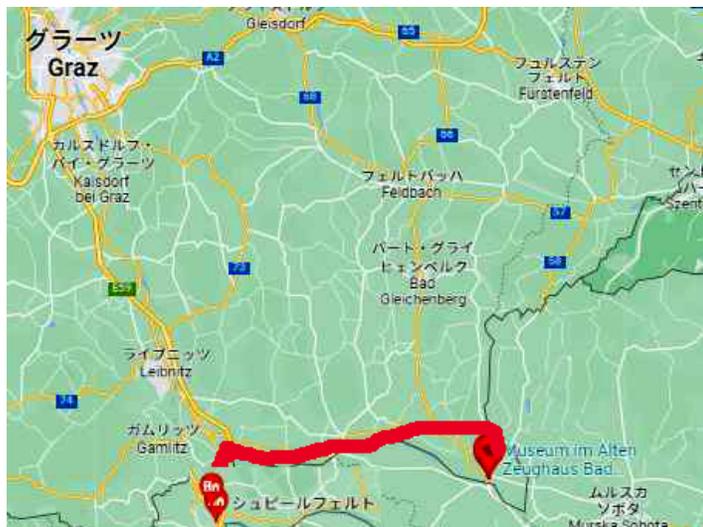
# ラドカースバーグ鉄道

ラドカースブルク鉄道は、バート・ラトカースブルクの町とオーストリア南部鉄道を結ぶムール川沿いの 56.5km の鉄道路線です。ゴルニャラドゴナ（オベラドケルスブルク）を経由してスロベニアのリュトメル（リュトメル）に至るルート of のさらなるコースは、1945 年以来、今日の国境の川の地域で中断されています。



2010 年 オーストリア発行  
ラドカースブルク鉄道

150 周年切手  
1860 年 -----2010 年



grenzlandbahn Spielfeld Strass-bad radkersburg  
[https://de-m-wikipedia-org.translate.google/wiki/Radkersburger\\_Bahn?\\_x\\_tr\\_sl=de&\\_x\\_tr\\_tl=ja&\\_x\\_tr\\_hl=ja&\\_x\\_tr\\_pto=sc](https://de-m-wikipedia-org.translate.google/wiki/Radkersburger_Bahn?_x_tr_sl=de&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=sc)

# ローカル線 ドレジングー ツィスターズドルフ間

地方鉄道ドレジングーツィスターズドルフ間 11.7km はニーダーエスターライヒ州の地方線であり、主に大量の貨物輸送により、廃止されずにいる。ドレジングーの北部鉄道からツィスターズドルフ方面に分岐し、旧シュタマースドルフ地方鉄道からドーバーマンスドルフまで、パートピラヴァルトとグロースシュヴァインバルト経由でシュタマースドルフまで接続しています。

この 11.736km の長さのルートネットワークで最も印象的な機関車は、とりわけ 93 シリーズの蒸気機関車と古い設計のディーゼル機関車でした - スタンプはジスターズドルフ駅の 5042 シリーズの鉄道車両を示しています - 後にそれは主に 5047 のディーゼル鉄道車両でした 2048 シリーズの貨物輸送から乗用車とディーゼル機関車に使用されたシリーズ。



廃線になった路線



2009 年 オーストリア発行  
ドレジングーツィスターズドルフ間鉄道  
120 周年切手  
1889 年 -----2009 年



廃線になった路線にバス路線



過去活躍した機関車

# エルツベルク鉄道

1891年9月にラック式鉄道として開通し、1978年まで蒸気機関車で運行されていたエルツベルクバーンは、間違いなくオーストリアで最も美しい鉄道路線の1つです。加えてヨーロッパで最も急勾配の鉄道でもあります。シュタイアーマルク州のエルツベルクからレオーベン近くフォルダンベルクとドナウィッツの高炉に鉱石を輸送するため建設され、1988年運行は中止され、博物館鉄道の運営のために Erzbergbahn 協会にリースされました。2003年に、協会はシリーズ 5081.500 の青いレールバスを運行、今日でも Vordernberg から Präbichl を経由して Eisenerz まで、印象的な山を背景に運行しています。8つ以上のレンガの高架橋と、全長 2.5 キロメートルの5つのトンネルを通り、鉄道は最大 71/1000 の勾配でスティリアンエルツベルクを運行します。



エルツベルク駅の鉱石積み込み施設



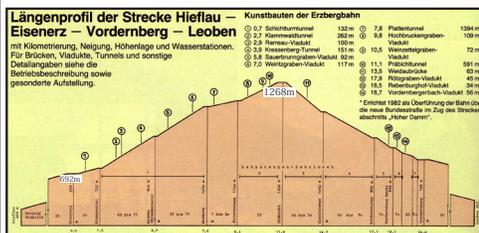
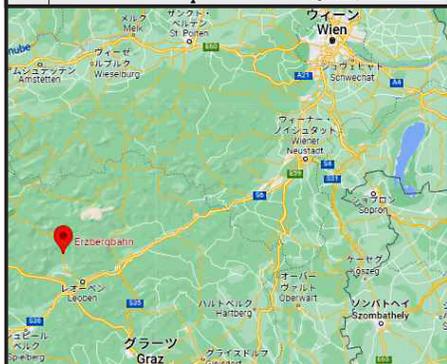
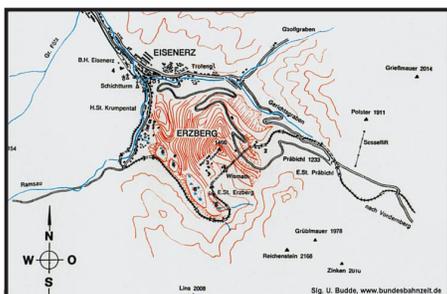
鉱石運搬に活躍した各種機関車



2011年 オーストリア発行  
エルツベルク鉄道 120周年切手  
1891年-----2011年



シリーズ 5081 レールバス



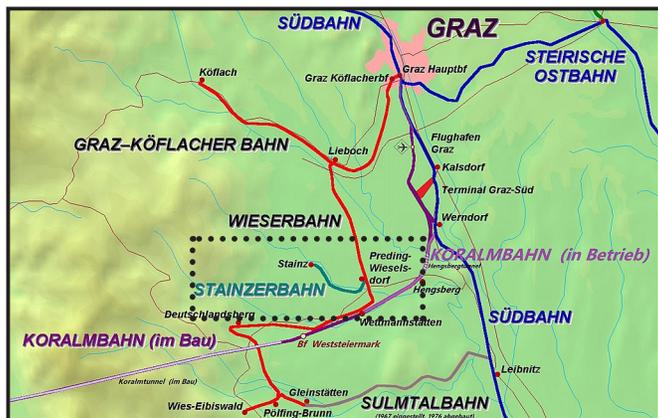
[https://www-erzbergbahn-at.translate.goog/galerie/?\\_x\\_tr\\_sl=de&\\_x\\_tr\\_tl=ja&\\_x\\_tr\\_hl=ja&\\_x\\_tr\\_pto=sc](https://www-erzbergbahn-at.translate.goog/galerie/?_x_tr_sl=de&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=sc)  
<https://de.wikipedia.org/wiki/Erzbergbahn>

# スティリアン地方鉄道 125 年

Stainzerbahn または Lokalbahn Preding- Wieselsdorf - Stainz は、シュタイアーマルク州西部の狭軌鉄道です。11.3 km ゲージ 760 mm。シュタイアーマルク州の鉄道の以前のルートは、廃止された後、マーケットタウンのシュタインツに引き継がれ、その後「シュタインツフラッシュェンルツグ」観光鉄道として運営されています。



2017 年 オーストリア発行  
スティリアン鉄道 125 周年切手  
1892 年 ----- 2017 年



シュタインツ駅の旧待合室にある鉄道博物館。



[https://de-m-wikipedia-org.translate.goog/wiki/Stainzerbahn?\\_x\\_tr\\_sl=de&\\_x\\_tr\\_tl=ja&\\_x\\_tr\\_hl=ja&\\_x\\_tr\\_pto=sc](https://de-m-wikipedia-org.translate.goog/wiki/Stainzerbahn?_x_tr_sl=de&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=sc)